



よこはま村通信

～おいしいまでの物語～



いいだ のりひで

飯田 規秀さん

横浜市保土ヶ谷区の苧部農園で、園主の苧部博之さんとともに野菜や果樹を栽培しています。苧部農園では年間約100品目以上を栽培し、オリジナルブランドの品種開発もされています。

趣味:

ツーリング、サーフィン、
キャンプ



NPO団体での経験から農家に！

飯田さんはNPO団体での経験や農業アルバイトの経験を経て約15年前に就農。初めは、農業をやりたかったわけでもなく、なんとなくで働き始めたそうです。今では、自分で新しい野菜の栽培に取り組まれたりもしています。

オリジナルブランドの開発

赤色が入った柔らかく風味の良い「苜部ネギ」、グラデーションが特徴の「苜部大根」、カラフルな「苜部人参」というオリジナルブランドが苜部農園の強みで、地元のお客様からも好評をいただいています。



取れたての新鮮な野菜

苜部農園にはいくつもの畑があります。とても立派なキャベツをいただきましたが、食感も良くてとてもおいしかったです！毎回20~30種類の収穫したての野菜をそのまま直売所「FRESCO」で販売しているので、新鮮な野菜を買うことができます！

～飯田さんからお客様へメッセージ～

横浜野菜を食べて頂きありがとうございます！

これからもよろしくお願いします。

FRESCOでいい野菜を売りたい！



苧部農園には「FRESCO」という直売所があります。飯田さんは、「FRESCOで良い野菜を売りたい！」という思いで農業をしています。以前はカウンターだけで販売していましたが、今はお店全体に並んでいます。実際にFRESCOに入らせていただくと、キャベツや大根、なすなど、立派な野菜がたくさんありました！野菜は当日売り切りで、早いと16:00過ぎには減り始めて17:30には完売してしまうそうです。他にも苧部ネギじゃんや、トマトケチャップなどの加工品、FRESCOエコバックなども販売しています。お客様のご要望に応えた野菜を育てることもあるとのこと、お客様のために良い野菜を育てたい、という思いが伝わってきました！

～販売者情報～

苧部農園野菜直売所「FRESCO」

住所：横浜市保土ヶ谷区西谷町962

販売：毎週月・水・金の14:00~18:00

FRESCO
Instagram



二十四節気 「立春」って？

立春は二十四節気の1番一の節季。「春が立つ→春の兆しが見え始める時期」という意味で、暦の上で春が始まるタイミングです。素敵な一年を過ごすための「立春大吉」という厄除け方法もあるそうです！

椿さんの、ちょっと

ヒトコトいいですか？

気は優しくて力持ち！そのままの人間性です。いつも気遣いをしてくれて、頼りになる青年。これからも変わらず、横浜の農業を盛り上げましょう！



料理人 椿直樹 ~レストラン情報~

TSUBAKI食堂

横浜市中区6-50-10

横浜州市庁舎2階

〈TEL〉 045-211-4300

〈ランチ〉 11:00~15:00

〈ディナー〉 17:00~22:00

定休日：年末年始

TSUBAKI食堂
公式ホームページ



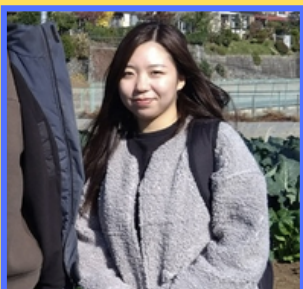
Facebook



Instagram



学生編集後記



飯田さんが就農するまでのお話がとても印象的でした。今では、自分で育てたい野菜を提案して試したり、直売所の運営をしたりすることを楽しんでいるということをお話ししてくださいました。近所の方との新しい交流が増えたことも農業だからこそだと感じました。学生時代のことからFRESCOのことまでいろいろなことをやさしくお話ししてくださって、楽しく取材に参加させていただきました。ありがとうございました！

よこはま村通信 第15号 発行日： 2025年 2月 21日 発行：椿直樹
編集：片桐永理、片桐知茅(神奈川大学国際経営学科山岡ゼミ)